



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成27年10月8日

本資料の発表をもって解禁

10月18日(日) 信濃川妙見防災センターを臨時開館します ～サケの遡上状況を観察できます～

信濃川に設置された妙見堰では、9月下旬から11月、サケが遡上する時期となっており、遡上状況を観察できます。

サケの遡上を観察したいというご要望があり、妙見堰に隣接する信濃川妙見防災センターを、10月18日(日)に臨時開館することとしました。

同センターの3階展望室では、妙見堰右岸側の魚道を上から観察することができます。この他、2階展示室では信濃川に生息している生物を紹介するパネルや昆虫の標本等、信濃川の自然に対する理解を深めていただけるような展示を行っています。

また、当日、来館者のうち希望される方に堰カード(お一人様1枚)を配布します。

妙見堰で信濃川の自然を学び、勉強の秋を満喫してみませんか。是非ご来館ください。

【見学詳細】

日時：平成27年10月18日(日) 9:00～16:30

場所：新潟県長岡市妙見町29番地 信濃川妙見防災センター

(堰カードは1階受付で配布します。)

入館料：無料

協力：一般社団法人北陸地域づくり協会

※信濃川妙見防災センターは、通常、月曜日から金曜日(祝日、振替休日、年末年始を除く。)の9:00から16:30の間、開館しています。



3階展望室から見える妙見堰



同時発表記者クラブ

長岡市記者会、長岡地域記者会
十日町記者クラブ、小出郷新聞、
小千谷新聞、越南タイムス、
FMゆきぐに、業界紙

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
広報担当 専門官 小林 正夫
電話：0258-32-3020(内線216)